

STEL 修士二年の重松界です。この研究所では珍しく工学研究科に所属していますが、周りの人も研究内容も出席する学会もことごとく理学系のため、自らのアイデンティティを喪失しかけています。

進学が主な進路である理学系と違い、工学系の人間は 9 割以上が就職を選びます。私も工学系の多分に漏れず就職を選び、無事に就職活動も終了させることが出来ましたが、研究室の居室では自分以外が全員進学する、もしくは既に進学しているため、日々肩身が狭いです。痩せそうです。

さて、私はオーロラについて研究しており、具体的には「地上観測によりオーロラの高度を推定する」という研究を行なっています。研究当初はすでに撮影されたオーロラのデータを先生に頂いて解析をしていましたが、修士 1 年の冬に運良くアラスカにカメラ設置のため出張できることになりました。出張が決まった時には「タンクトップで写真を撮ろう」「バナナで釘を打とう」などと遠足ムードでしたが、「-40℃で深呼吸すると肺が凍って死ぬ」という話を聞き、慌ててユニクロでヒートテックを買い込み、「私が深呼吸して死んだら開封して下さい」と遺書をしたためました。

今回はそのアラスカ出張について報告しようと思います。

アラスカでの研究をするにあたり、一番最初に大きなハードルがあります。渡航です。乗り継ぎが 3 度あり、合計 32 時間にわたる行程でいきなり疲労困憊の私を待っていたのは -25℃の世界でした。初めて体験する寒さに思わず「こんなところでも生きていけるんだ、大変だろうに」と独りごちた私の前にはビーチサンダルで颯爽と歩く女性が。なんでも前日まで -40℃の寒さだったらしく、-25℃の当日は春が来たような感覚だったそうです。一抹どころではない不安を覚えながらも、翌日以降に備えてさっさと休むことにしました。現実逃避です。

翌日からは毎日カメラ設置と調整、実験を行いました。アラスカ大学の研究者の方に協力していただき、NASA のロケット打ち上げ実験場内にカメラを設置することになりました。

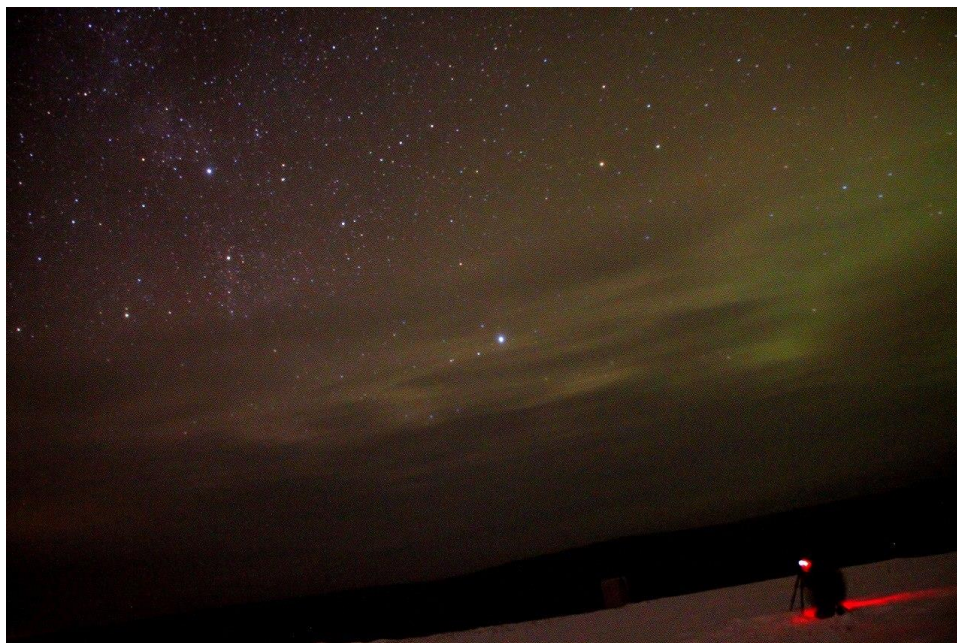


普通に生活していたら決して入ることができないであろう施設での作業であり、この研究室に入ってよかったと思った瞬間でした。現金なものです。

実際のカメラ設置作業を行うにあたり、寒さが主な障害になると考えていましたが、一番の障害は「夜」でした。12月のアラスカは日照時間が4時間ほどしかなく、午後2時には日が落ちてしまいます。食事は時間を節約するため車内で食べ、起きている時間の大半を作業に充て、5時間ほど眠ってまた作業、というサイクルでした。肉体的には非常に辛かったです。アラスカにいる、という実感もわき、非常に充実した設置作業となりました。



全日程通して天候は悪く、オーロラの観測は絶望的だと言われていましたが、最終日には奇跡的に雲が切れ、オーロラが姿をのぞかせました。室内でのカメラ調整作業中でしたが全てを忘れ、先生を残して外に飛び出してしまいました。今思うと何をやってるんだという感じですが、初めてのオーロラにはそれほどの威力がありました。なかなか機会はないと思いますが、これを読んでいる方も是非一度実際にご覧になっていただけたら、と思います。



全体的に無茶なスケジュールの強行軍ではありましたが、振り返ってみれば非常に充実した出張であったと思います。寝不足のまま雪かきをしたり機械を運んだり辛いことも多かったですが、トナカイを食べ、アラスカ大学に行き、露天風呂に入り、と楽しいことも数多くありました。お世話になった方々全てに感謝します。

大学院、とくに理系の大学院というのはPCさえあれば研究ができてしまうことも多く、実際に自分が扱っているデータに実感を持つことができないということが多くかと思えます。しかし、ほんの1週間ではありますが、実際にアラスカに出張してカメラ設置作業を行うことで、これまで単なるデータとして扱ってきたオーロラの写真が圧倒的な現実感を持つようになり、研究に対する姿勢も大きく変わりました。工学系がいくら多岐にわたる研究をしているといえど、実際にアラスカに行き、NASAの研究所で作業ができる研究室はそう多くはないでしょう。ここは「宇宙」という非常に実感しにくい研究をしている研究室ですが、出張を通じ、我々が生きているのは紛れもなくその宇宙であり、もしかすると自動車や電力といった研究以上に生活に密着している研究なのかもしれないな、と考えるようになりました。

私はあと半年で卒業してしまいますが、悔いの残らないよう研究をしていきたいと思いま

す。

まとまりのない文章で恐縮ですが、最後に「-25℃程度ではバナナで釘は打てない」ということを記し、筆を置かせていただきます。



現地の女性に「crazy guy!早くそのタンクトップ脱ぎなよ！」などと笑われる



年中クリスマスのバー、チャタニカにて